便利な機能

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能とは、パソコンやプリンタ、ハンズフリー対応機器などとの間を無線でつなぎ、ケーブルを使用することなく通信できる技術です。

Bluetoothは、その商標権者が所有しており、シャープ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth®機能でできること

ワイヤレス出力	ワイヤレスで音楽やテレビ、ラジオを聴くことができます。
ハンズフリー通話	Bluetooth®対応のハンズフリー対応機器とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話できます。
データ送受信	アドレス帳、プロフィール、スケジュール、タスクリスト、データフォルダのデータをBluetooth®機器と送受信できます。
ダイヤルアップ接続	パソコンなどとBluetooth®接続を行い、インターネットなどにアクセスできます。

■ お知らせ

- W64SHはすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USBケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「ワイヤレス出力の初期登録中」、「ハンズフリー通話の初期登録中」、「データ送受信中」、「接続相手リストからの探索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。

- 着信があった場合は、Bluetooth®通信が中断され、[ ]を押すと通話できます。
- 電池残量がなくなった場合は、Bluetooth®通信が中断され、電源が切れます。
- アラーム、スケジュールアラーム、タスクアラームなどで設定した時刻と重なった場合は、Bluetooth®通信終了後にアラームが起動します。
- Bluetooth®通信中にEメール／Cメールの受信があった場合は、Bluetooth®通信を中断することなく、メールが受信されます。

Bluetooth®機能の取り扱いについて

- W64SHのBluetooth®機能は、日本国内のみでお使いください。
- ワイヤレスLANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、様々な機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によってはほかの機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver. 2.0+EDR準拠
出力	Bluetooth®標準規格Power Class2
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内

対応Bluetooth®プロファイル※2	SPP（Serial Port Profile） HFP（Hands-Free Profile） DUN（Dial-Up Networking Profile） BIP（Basic Imaging Profile） OPP（Object Push Profile） AVRCP（Audio／Video Remote Control Profile） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
使用周波数帯	2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）

※1 通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

周波数について

W64SHのBluetooth®機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を利用しますが、ほかの無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

W64SHご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、auショップまでお問い合わせください。

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。

Bluetooth®機能の関連用語について

機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス（12桁の英数字） • パスキー入力を行って接続した通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。
SPP （Serial Port Profile）	仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続するためのプロファイル
HFP （Hands-Free Profile）	カーナビ、ハンズフリー対応機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイル
DUN （Dial-Up Networking Profile）	カーナビ、パソコンなどを使用したデータ通信のためのプロファイル
BIP （Basic Imaging Profile）	本体／microSDデータフォルダのJPEG形式の画像（著作権保護なし）を送受信するためのプロファイル
OPP （Object Push Profile）	カーナビ、パソコンなどとアドレス帳データ、スケジュールデータなどを送受信するためのプロファイル
AVRCP （Audio／Video Remote Control Profile）	W64SHなどのオーディオ機器をリモート制御するためのプロファイル
A2DP （Advanced Audio Distribution Profile）	ワイヤレス出力対応アプリの音を転送するためのプロファイル
OBEX（OBject EXchange）	画像データやアドレス帳データのファイル交換を行うための手順
認証パスワード	接続する機器からOBEX認証の要求があった場合に入力するパスワード • W64SHでは、1～8桁の数字を入力できます。
パスキー	Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために入力する暗証番号 • W64SHでは、1～8桁の数字を入力できます。

ワイヤレス出力対応アプリ	ワイヤレス出力対応機器に音を出力できるアプリ • W64SHでは、LISMO Player、au Media Tuner、FMラジオのことを指します。
ワイヤレス出力対応機器	A2DPに対応したBluetooth®機器 • W64SHでは、SCMS-T方式で著作権保護されている機器のみ利用できます。

Bluetoothメニューについて

1 待受画面で■▶「Bluetooth」▶■▶項目を選択▶■

ワイヤレス機器選択	初期登録済みのワイヤレス出力対応機器の中から、ワイヤレス出力対応アプリで音を出力する機器を選択
接続待ち開始／停止	接続待ち開始／停止（→P.309）
初期登録	ワイヤレス出力対応機器やハンズフリー対応機器の初期登録（→P.308）
データ受信	W64SHを受信待機状態にして、相手側（送信側）からのデータ送信を待機（→P.310）
Bluetooth設定	Bluetooth®機能に関する設定（→P.312）

■ お知らせ

• 待受画面で■2 7 2と押してもBluetoothメニューを表示できます。

Bluetooth®機能をご利用になる前に

Bluetooth®機器を登録する

W64SHからBluetooth®機器に接続する場合は、あらかじめ次の操作で接続相手を登録する必要があります。登録済みの機器に接続する際は、この操作は必要ありません。
なお、ワイヤレス出力対応機器やハンズフリー対応機器を登録する操作については、「ワイヤレス出力対応機器やハンズフリー対応機器を登録する」（→P.308）をご参照ください。

1 Bluetoothメニューで「Bluetooth設定」▶■▶「接続相手リスト」▶■▶ (探索)

探索に応答した機器が表示されます。

2 接続するBluetooth®機器を選択▶■（接続）

3 パスキー（1～8桁の数字）を入力▶■

W64SHとBluetooth®機器で同じパスキーを入力します。
接続されると、Bluetooth®機器が登録されます。

■ お知らせ

• データ送信の機器選択画面でも、Bluetooth®機器を登録できます。

パスキーについて

- パスキー入力は、セキュリティ確保のために30秒の制限時間が設けられています。
- W64SHでは、9桁以上のパスキー、および英字を使用できません。
- パスキー入力は、W64SHおよびBluetooth®機器で必要です。Bluetooth®機器の操作方法についてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご覧ください。
- パスキーは一度入力すると、W64SHおよびBluetooth®機器に登録され、それ以降同じ機器と接続する際はパスキーの入力は必要ありません。ただし、接続する機器によっては毎回パスキーの入力が必要な場合があります。
- W64SHおよびBluetooth®機器のセキュリティの設定内容によっては、パスキーを入力する必要がない場合があります。W64SHでは「Bluetooth設定」▶■▶「セキュリティ」▶■で設定できます。
- 接続相手リストで接続相手を削除すると、登録されたパスキーも削除されます。それ以降同じ機器と接続する際はパスキーを入力する必要があります。

機器選択画面について

機器選択画面

① 機器種別
- ：ハンズフリー対応機器
- ：コンピュータ
- ：ヘッドホン
- ：その他
- ：携帯電話
- ：プリンタ
- ：オーディオ機器

② 機器名称／機器アドレス

③ 探索結果
- ：新しく見つかった機器
- ：機器登録済みで今回も見つかった機器
- ：機器登録済みで今回は見つからなかった機器

④ 保護状態
- ：削除されないよう保護された機器

⑤ 対応プロファイル
- A2DP：ワイヤレス出力を利用できる機器
- HFP：ハンズフリー通話を利用できる機器
- DUN：ダイヤルアップ接続を利用できる機器
- BIP：JPEG形式の画像送受信で「BIP」を利用できる機器
- OPP：データ送受信を利用できる機器

■ お知らせ

- 探索に応答した機器は、最大8件まで表示されます。
- 接続相手リストに登録されるのは、最新の20件です。それを超えると一番古い接続相手から順に削除されます。
- Bluetooth®機器名が取得できなかった場合は、機器アドレスが表示されます。
- Bluetooth®機器が探索拒否する設定になっている場合は、機器選択画面に表示されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご覧ください。W64SHでは、「Bluetooth設定」▶■▶「探索受付」▶■で設定できます。
- 機器選択画面で表示されるサブメニューは次のとおりです。

アドレス表示／機器名称表示	機器選択画面のアドレス表示と機器名表示を切り替え

ワイヤレス出力対応機器やハンズフリー対応機器を登録する

ワイヤレス出力対応機器やハンズフリー対応機器の初期登録を行います。この操作は対応機器の近く（10m以内）で行ってください。

1 Bluetoothメニューで「初期登録」▶■

2 「ワイヤレス機器を登録」／「ハンズフリー機器を登録」▶■▶「はい」▶■

3 機器を選択▶■（接続）▶パスキー（1～8桁の数字）を入力▶■

ワイヤレス出力対応機器の初期登録を行った場合は、確認画面が表示されます。「はい」▶■と操作すると、「ワイヤレス機器選択」の設定が変更されます。
ハンズフリー対応機器の初期登録を行った場合、自動的に接続待ちが開始され、ハンズフリー対応機器と接続されます。

■ お知らせ

- 登録したワイヤレス出力対応機器は、「ワイヤレス機器選択」の設定を変更しないと使用できません。
- SCMS-T方式で著作権保護されているワイヤレス出力対応機器でのみ、ワイヤレス出力対応アプリの音を聴くことができます。

Bluetooth®機器からの接続要求に応答する

1 Bluetoothメニューで「接続待ち開始／停止」▶■▶「接続待ち開始」▶■

2 Bluetooth®機器からの接続要求

3 パスキー（1～8桁の数字）を入力▶■

W64SHとBluetooth®機器で同じパスキーを入力します。

■ お知らせ

- Bluetooth®機能によっては、同じパスキーを入力しても接続できない場合があります。

Bluetooth®機能の利用

接続待ちを開始／停止する

接続待ちを開始すると、ワイヤレス出力、ハンズフリー通話、ダイヤルアップ接続を利用できます。

1 Bluetoothメニューで「接続待ち開始／停止」▶[■]

2 「接続待ち開始」／「接続待ち停止」▶[■]

接続待ちを開始すると、待受画面に「 (グレー)」が表示されます。
待受画面で[#]を長押ししても、接続待ちを開始／停止することができます。

■ お知らせ

- 接続待ちを開始すると、電池の消耗が早くなります。
- ワイヤレス出力対応機器との接続待ちは、「ワイヤレス機器選択」をワイヤレス出力対応機器に設定しているときのみ開始できます。
- 同一機器に限り、ワイヤレス出力とハンズフリー接続、ダイヤルアップ接続を同時に行うことができます。ただし、ハンズフリー通話中にダイヤルアップ接続をしてデータ通信を行うことはできません。
- 接続待機中にデータの送受信などのBluetooth®通信を行った場合、接続待ちを一時中断し、Bluetooth®通信終了後に接続待ちを再開します。一時中断中は、ワイヤレス出力、ハンズフリー接続、ダイヤルアップ接続を行うことはできません。
- 接続待ちの設定は、電源のON／OFFにかかわらず記憶されます。

ワイヤレス出力（ヘッドホン／オーディオ機器）

ワイヤレス出力対応機器でワイヤレス出力対応アプリの音を聞くことができます。
初期登録済みのワイヤレス出力対応機器の中から、音を出力する機器を選択します。ワイヤレス出力で利用するプロファイルは「A2DP」です。
※ワイヤレス出力対応機器を初めてご利用になる場合は初期登録を行ってください。（→P.308）

1 Bluetoothメニューで「ワイヤレス機器選択」▶[■]

2 ワイヤレス出力対応機器を選択▶[■]

■ お知らせ

- 「ワイヤレス機器選択」は、ワイヤレス出力対応アプリを使用するときに有効な設定です。キー操作音や機能登録時の確認再生では、音はスピーカー／イヤホンに出力され、ワイヤレス出力対応機器には出力されません。
- ワイヤレス出力対応アプリの音がイヤホンに出力される設定の場合に、ワイヤレス出力対応アプリの音はワイヤレス対応機器に出力されます。ただし、選択した機器と接続できない場合は、音はワイヤレス出力対応アプリの設定に従ってスピーカー／イヤホンに出力されます。
- ワイヤレス出力対応機器へ出力中に「ワイヤレス機器選択」で「OFF（スピーカー／イヤホン）」を選択すると、音はワイヤレス出力対応アプリの設定に従ってスピーカー／イヤホンに出力されます。
- 接続待ちを開始しても、ワイヤレス出力対応機器と接続できます。続けて、ワイヤレス出力対応機器からの操作で再生を行うと、LISMO Playerの再生が始まります。
- ワイヤレス出力対応機器との接続が失敗する場合は、再度初期登録を行うなど、登録状況を確認してください。

■お知らせ

ワイヤレス出力対応機器接続中の動作について

- BGM再生中／BGM視聴中に機能登録時の確認再生を行ったときは、スピーカーから出力されます。
- ワイヤレス出力対応機器接続中にLISMO Player、テレビ（ワンセグ）、FMラジオで音量を調節しても、ワイヤレス出力対応機器には反映されません。音量はワイヤレス出力対応機器の操作で調節してください。また、利用する機器によっては音量調節以外も機能しない場合があります。
- ワイヤレス出力対応機器で聴いている際、着信があった場合や、アラーム、スケジュールアラーム、タスクアラームなどで設定している時刻になった場合は、W64SHが着信／アラーム動作を行います。（「Bluetooth設定」の「Bluetooth着信鳴動」を「両方鳴動」に設定している場合は、ワイヤレス出力対応機器からも専用通知音が聞こえます。）ワイヤレス出力対応機器で電話を受けたりお話しすることはできません。[通話]を押して、スピーカーとマイク（送話口）でお話しください。
- ワイヤレス出力対応アプリ起動中にワイヤレス出力対応機器との接続が切断されても、アプリの動作は継続します。接続切断後、ワイヤレス出力対応機器を操作すると接続を再開します。
- ワイヤレス出力対応機器接続中に、ほかのBluetooth®機能を利用するとワイヤレス出力対応機器との接続が切断される場合があります。また、ほかのBluetooth®機能の利用中に、ワイヤレス出力対応機器の接続を開始すると、利用していたBluetooth®接続は切断される場合があります。
- テレビ（ワンセグ）の番組によっては、ワイヤレス出力対応機器で音を聴くことができない場合があります。

ハンズフリー通話

ハンズフリーを初めてご利用になる場合は、初期登録を行ってください。（→P.308）ハンズフリー通話で利用するプロファイルは「HFP」です。

1 Bluetoothメニューで「接続待ち開始／停止」▶[●]▶「接続待ち開始」▶[●]

■お知らせ

- ハンズフリー通話中に[2]を押すと、本体とハンズフリー対応機器の音声を切り替えることができます。
- ハンズフリー通話中に、切断されたBluetooth®接続を復旧している状態になると、通話が終了することがあります。

ダイヤルアップ接続

パソコンなどとBluetooth®接続し、インターネットなどにアクセスできます。ダイヤルアップ接続で利用するプロファイルは「DUN」です。
パソコンなどのBluetooth®機器のモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になるパソコンなどの取扱説明書をご覧ください。

1 Bluetoothメニューで「接続待ち開始／停止」▶[●]▶「接続待ち開始」▶[●]

■お知らせ

- 発信した相手から応答がない場合、3分以内に3回までしか発信できません。

データを受信する

本体を受信待機状態にして、相手側（送信側）からのデータ送信を待ちます。
JPEG形式の画像受信で利用するプロファイルは「BIP」、それ以外のデータ受信で利用するプロファイルは「OPP」です。

1 Bluetoothメニューで「データ受信」▶[●]

2 3分以内に相手側（送信側）のBluetooth®機器からデータを送信する

1件受信の場合		受信データを追加登録／保存
全件受信の場合	追加	本体データを残して、受信データを登録
	上書き	本体データをすべて削除して、受信データを登録 *1* ロックNo.を入力▶[●]

3 「はい」▶[●]

■お知らせ

- 接続する機器によっては、認証パスワードが必要になる場合があります。
- アドレス帳を全件受信して「上書き」を選択した場合、受信データの1件目をプロフィールに上書き登録するか確認する画面が表示されます。「はい」を選択すると、プロフィールが上書きされます。（自局電話番号とマイアドレスは除く）
- アドレス帳、スケジュール、タスクリスト以外のデータは、1件受信のみ可能です。
- 登録先／保存先の件数が一杯の場合は、登録／保存できません。途中で一杯になった場合は、それ以前のデータは登録／保存されます。
- 受信したデータの登録先／保存先は次のとおりです。

受信データ	ファイル種別	登録先／保存先
アドレス帳（プロフィール）	vCard	アドレス帳、プロフィール
スケジュール	vCalendar（vEvent）	スケジュール
タスクリスト	vCalendar（vToDo）	タスクリスト
上記以外のデータ	上記以外	データフォルダ

データを送信する

アドレス帳、プロフィール、スケジュール、タスクリスト、データフォルダ内のデータを送信できます。
データフォルダ内のJPEG形式の画像送信で利用するプロファイルは「BIP」、それ以外のデータ送信で利用するプロファイルは「OPP」です。

例：アドレス帳を送信する場合

1 アドレス帳一覧画面を表示▶[アプリ]（サブメニュー）▶「Bluetooth送信」▶[●]
アドレス帳を1件送信する場合は、送信したいアドレス帳を選択しておきます。

2 送信方法を選択▶[●]

1件送信	アドレス帳を1件送信
選択送信	アドレス帳を任意に選択して送信 *1* アドレス帳を選択▶[●]▶[アプリ]（実行） • 選択を解除するには[●]（解除）を押します。
全件送信	プロフィールとアドレス帳全件を送信 *1* ロックNo.を入力▶[●]

3 「はい」▶[●]

4 送信先の機器を選択▶[●]（接続）

■お知らせ

- 接続する機器によっては、認証パスワードが必要になる場合があります。
- アドレス帳、プロフィール、スケジュールに画像が含まれている場合は、「はい」を選択すると画像も送信されます。
- 著作権保護ありのデータは送信できません。
- JPEG形式の画像でも、相手が「BIP」に対応していない場合は「OPP」を利用して送信されます。
- データ送信時は、アドレス帳とプロフィールはvCard形式、スケジュールとタスクリストはvCalendar形式に変換されて送信されます。
- au Media Tuner起動スケジュールは、通常のスケジュールとして送信されます。

Bluetooth®機能の設定

1 Bluetoothメニューで「Bluetooth設定」▶[■]▶項目を選択▶[■]

Bluetooth着信鳴動	Bluetooth®機器と接続中に着信した場合の鳴動方法を設定	
	携帯のみ鳴動	W64SHのみ着信音を鳴動させるように設定
	接続相手のみ鳴動	Bluetooth®機器のみ着信音を鳴動させるように設定 • Bluetooth®機器が接続されていない場合は、W64SHで着信音が鳴動します。また、着信中に、Bluetooth®接続が切断された場合は、着信音が鳴動しなくなります。 • 設定している着信音によっては、Bluetooth®着信専用の着信音が鳴動することがあります。
	両方鳴動	Bluetooth®機器とW64SHで、Bluetooth®着信専用の着信音を鳴動させるように設定 •「音声着信〈M211〉」の画像の設定に関係なく、お買い上げ時のデータが表示されます。
セキュリティ	Bluetooth®機器がW64SHへ接続するときに、認証画面を表示する／しないを設定 *1* **ロックNo.を入力**▶[■]▶**「あり」**／**「なし」**▶[■] •「なし」に設定しても、接続相手の機器によっては認証が必要な場合があります。 •「なし」に設定していると、意図しない相手（Bluetooth®機器）から接続される恐れがありますのでご注意ください。	
探索受付	Bluetooth®機器からの探索を受け付けるかどうかを設定 *1* **ロックNo.を入力**▶[■]▶**「受付」**／**「拒否」**▶[■]	
接続相手リスト	登録済みBluetooth®機器の情報を表示 • [■]（詳細）を押すと、接続相手の詳細が表示されます。 • [ｍｅｎｕ]（探索）を押すと、接続可能なBluetooth®機器を探索します。	
自機情報	自機情報を表示 • [ｱﾌﾟﾘ]（編集）を押すと、自機名称を編集できます。	

登録機器情報の設定をする

1 接続相手リスト画面で[ｱﾌﾟﾘ]（サブメニュー）▶項目を選択▶[■]

保護※	登録機器情報の保護を10件まで設定	
全件保護解除	登録機器情報の保護を全件解除	
削除	**1件削除**	登録機器を1件削除
	全件削除	登録機器を全件削除
アドレス表示／機器名称表示	接続相手リスト画面のアドレス表示と機器名表示を切り替え	

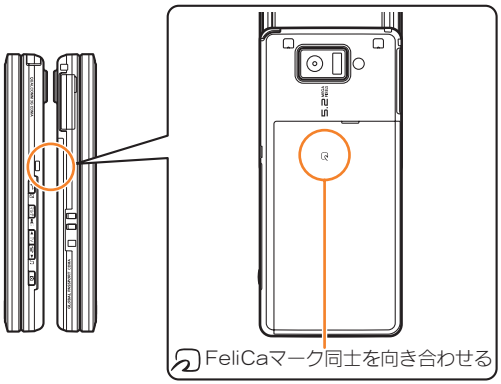
※設定済みの場合は「保護解除」と表示されます。「保護解除」▶[■]▶「はい」▶[■]で保護設定が1件解除されます。

Touch Message

W64SHでは、FeliCa対応機能を利用して、対応機種同士でメッセージ、アドレス帳、スケジュール、データフォルダ内のデータなどを送受信することができます。
海外モード、および電源を入れてから一度も国内の圏内になっていない（電波OFFモード含む）状態では、使用できません。

Touch Messageの利用のしかた

Touch Messageを行う際には、送信側で送りたいデータを選んで、受信側のFeliCaマークと向かい合わせるだけで、やりとりすることができます。



※2台の携帯電話を平行にしてFeliCaマーク同士を密着（3mm以内）させ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。

送受信できるデータ

送受信データ	ファイル種別
メッセージ	vNote（拡張型）
アドレス帳、プロフィール	vCard
スケジュール	vCalendar（vEvent）
タスクリスト	vCalendar（vToDo）

送受信データ	ファイル種別
メール	vMessage
クーポン情報	各データに対応したデータ形式
上記以外のデータ（JPEG画像など）	

※受信したデータはすべて本体データフォルダに保存されます。

■お知らせ

- 送受信できるデータ容量は最大2MBです。データ容量によっては、通信に時間がかかる場合があります。
- 受信側は操作せずデータを受信することができるため、Touch Messageの受信制限またはFeliCaロックで受信制限することができます。
- Touch Message通信中に着信があった場合は、Touch Message通信は終了します。
- 相手の機器によってはデータを送受信しにくい場合があります。その場合は、少しだけ離すか、上下左右にずらして通信を行ってください。
- EZアプリ起動中、FeliCaロック中、遠隔ロック中、電源OFF中、通話中は、Touch Messageの送受信は行えません。

Touch Messageメニュー

1 待受画面で■▶「ツール」▶■▶「Touch Message」▶■

メッセージ作成	メッセージを作成
アドレス帳送信	アドレス帳をTouch Message送信
プロフィール送信	プロフィールをTouch Message送信
データフォルダ	データフォルダ内のデータをTouch Message送信
作成中メッセージ	作成中のメッセージの一覧を表示 • 作成中のメッセージを選択し、P7U（削除）▶「1件削除する」／「全件削除する」▶■と操作すると、メッセージを削除できます。 • 作成中のメッセージを送信したり再編集したりする場合は、メッセージを選択し、■▶■（編集）でメッセージ作成画面へ移行します。

受信履歴	Touch Message受信の受信履歴を表示（→P.315）
設定	署名、送信音量、受信制限を設定（→P.316）

■ お知らせ

- 初回起動時のみ、お知らせ画面が表示されます。●を押すとTouch Messageメニューに移行します。

Touch Message送信

メインメニューから「Touch Message」を起動し、送りたいデータ（メッセージ、アドレス帳、プロフィール、データフォルダ）を選択して送信します。

メッセージを送信する

メッセージを作成してTouch Messageで送信したり、作成中メッセージとして保存できます。

1 Touch Messageメニューで「メッセージ作成」▶●

メッセージ作成画面が表示されます。

2 ●（編集）▶本文を入力▶●▶ｍｒ（送信）

全角／半角ともに100文字まで入力できます。

3 FeliCaマークを向かい合わせる

■ お知らせ

- メッセージ作成画面でｱﾌﾘ（サブメニュー）を押すと次の操作ができます。

保存	メッセージを「作成中メッセージ」に保存 • 10件まで保存できます。
Eメールで送信	メッセージを本文とした状態で送信メール作成画面

- 作成中のメッセージデータがある場合は、「作成中メッセージ」で再編集することもできます。

アドレス帳のデータを送信する

1 Touch Messageメニューで「アドレス帳送信」▶●

2 項目を選択▶●

1件送信	*1* 送信したいアドレス帳を選択▶●（詳細）▶●
全件送信	*1* ロックNo.を入力▶●

3 FeliCaマークを向かい合わせる

プロフィールを送信する

1 Touch Messageメニューで「プロフィール送信」▶●

2 FeliCaマークを向かい合わせる

データフォルダ内のデータを送信する

1 Touch Messageメニューで「データフォルダ」▶●

2 フォルダを選択▶●▶送信したいデータを選択▶●（送信）

3 FeliCaマークを向かい合わせる

■ お知らせ

- 手順1のあとｍｒ（microSD）を押すと、microSDデータフォルダのデータを参照できます。
- microSDデータフォルダのデータを参照中はmicroSDカードを抜かないでください。
- 「アドレス帳ロック〈M414〉」を「ON」に設定すると、「アドレス帳送信」は使用できません。
- 著作権保護ありのデータやBMPデータは送信できません。
- アドレス帳全件送信時の認証パスワードは「1234」に設定されています。送信できない場合は、受信側と同じ認証パスワードを入力してください。
- データ容量が大きすぎたり、受信側の状態によっては送信できないことがあります。
- プロフィール、本体／microSDデータフォルダからの送信は、「1件送信」のみです。

■お知らせ

- 全件送信は、アドレス帳のみ行えます。アドレス帳を全件送信すると、プロフィールも送信されます。受信側で登録する際は、プロフィールの内容もアドレス帳に保存されます。
- アドレス帳、プロフィール、本体/microSDデータフォルダのサブメニューから「TouchMessage送信」を選んでも送信することができます。
- アドレス帳1件送信時/プロフィール送信時に、アドレスデータ、プロフィールに画像が含まれている場合は、画像も送信されます。

Touch Message受信

Touch Messageの受信は、送信相手の携帯電話とFeliCaマーク同士を合わせるだけで、自動的に受信が始まります。受信したデータは、ファイルの種類に応じたデータフォルダに保存され、Touch Messageアプリの受信履歴から確認することができます。

1 待受画面でデータを受信▶お知らせ画面で「」を選択▶●

2 メッセージを選択▶●（表示）

■お知らせ

- FeliCaロック中や待受画面以外では、Touch Message受信を行えません。
- アドレス帳全件受信時の認証パスワードは「1234」に設定されており変更できません。au電話以外からアドレス帳の全件受信をするときは送信側でパスワードを「1234」に設定してください。
- 受信したデータはすべてデータフォルダに保存されます。なお、データによっては、「不明フォルダ」に保存される場合もあります。

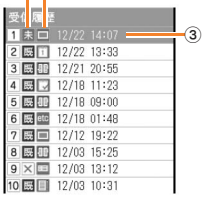
受信履歴

1 Touch Messageメニューで「受信履歴」▶●

受信履歴画面が表示されます。

2 データを選択▶●（表示）

受信履歴のデータが表示/再生されます。



受信履歴画面

①状態アイコン
未：未読　既：既読　×：受信失敗
② ファイル種別アイコン
：メッセージ
：スケジュール/タスクリスト
：アドレス帳データ/プロフィールデータ
：クーポン情報
：画像データ
etc：上記以外のデータ
③ 保存日時

■お知らせ

- 手順2で受信履歴を選択して[アプリ]（転送）を押すと、受信履歴のデータをTouch Message送信できます。
- 手順2で受信履歴を選択して[C]（削除）を押すと、受信履歴を1件削除/全件削除できます。
- 手順2でメッセージの受信履歴を選択▶●（表示）▶●（編集）と操作すると、メッセージ作成画面が表示されます。
- 本体データフォルダからデータを削除したり、microSDデータフォルダに移動した場合は、受信履歴からデータを表示/再生できません。

設定する

1 Touch Messageメニューで「設定」▶[●]▶項目を選択▶[●]

署名設定	メッセージの文末に付加する署名（最大80文字まで）を設定 *1*「付加する」▶[アプリ]（編集）▶署名を入力▶[●] *2*「付加する」▶[●]
送信音量設定	[音]で送信時に鳴らす音の音量を設定 • [アプリ]（再生）を押すと音量を確認できます。
受信制限※	Touch Messageの自動受信を制限する／しないを設定

※お買い上げ時は「制限しない」に設定されています。

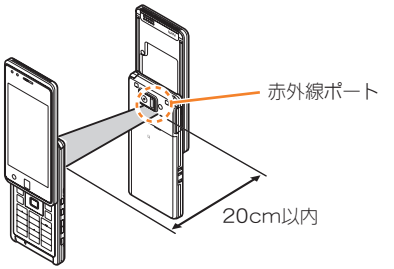
赤外線通信

W64SHと赤外線通信機能を持つau電話との間で、アドレス帳、プロフィール、スケジュール、タスクリスト、お気に入り、本体／microSDデータフォルダのデータなどを送受信できます。また、JPEG、GIF、PNG画像をプリンタなどの赤外線通信対応機器に送信することもできます。

- W64SHの赤外線通信機能は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によっては送受信できない場合があります。
- W64SHは高速赤外線通信方式であるIrSimpleバージョン1.0に対応しています。IrSimple™に対応した携帯電話同士、またはプリンタなどに大容量の画像データを瞬時に転送することが可能です。

赤外線通信の利用のしかた

赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備をする必要があります。（受ける側の準備を先に行うことをお勧めします。）赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。



送受信できるデータ

〈受信時〉

受信データ	登録／格納先
vCard	アドレス帳、プロフィール
vCalendar（vEvent／vToDo）	スケジュール、タスクリスト
vBookmark	お気に入りリスト
上記以外のデータ	データフォルダ

〈送信時〉

送信元	送信データ
アドレス帳、プロフィール	vCard
スケジュール、タスクリスト	vCalendar
メモ帳	.txt
お気に入りリスト	vBookmark
データフォルダ（microSDカード含む）	各データに対応したデータ形式

■お知らせ

- 送受信できるデータ容量は最大4MBです。データ容量によって通信に時間がかかる場合があります。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 赤外線通信中に電話がかかってきた場合は、赤外線通信が終了します。
- BGM再生中に赤外線通信を行った場合は、BGM再生を一時停止して通信を行います。
- W64SHに対応していないデータは、本体データフォルダに保存されますが、「不明データ」として扱われます。また、相手の機器やデータの種類、容量によっては再生できない場合があります。
- 赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。

データの受信

W64SHを赤外線受信待機状態にして、通信相手からのデータ送信を待ちます。

1 待受画面で■▶「赤外線」▶■▶「赤外線受信」▶■

2 データを受信

1件受信		受信したデータを追加登録／保存
複数件受信	追加登録	登録済みのデータを残して受信したデータを追加登録／保存
	書換え登録※	登録済みのデータをすべて削除して、受信したデータを上書き
	登録中止	受信したデータを追加登録／保存しないで破棄

※ アドレス帳の全件受信の書換え登録時は、受信データの1件目がプロフィールに上書きされます。（自局電話番号とマイアドレス、ICCIDは除く）

■ お知らせ

- 送受信時に認証パスワードの入力が必要な場合があります。認証パスワードとは送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めたお好みの4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力してください。認証パスワードの入力画面で約30秒間何もしないと、赤外線通信を中断します。
- データフォルダ内データは1件受信のみ可能です。
- 画像を含むアドレス帳データを受信した場合は、着信時やメール受信時に画像を表示するかどうかを設定します。

データの送信

赤外線受信待機中の機器にデータを送信します。

1 待受画面で■▶「赤外線」▶■▶「赤外線送信」▶■

2 送信するデータを選択▶■▶項目を選択▶■

1件送信	1 送信したいデータを選択▶アプリ（送信）▶「通常送信」／「シンプルショット送信」▶■
選択送信	1 送信したいデータを複数選択▶アプリ（実行）▶「はい」▶■▶認証パスワードを入力 • 相手を確認すると、データが送信されます。
全件送信	1 ロックNo.を入力▶■▶「はい」▶■▶認証パスワードを入力 • 相手を確認すると、データが送信されます。

■ お知らせ

- microSDデータフォルダのデータを参照中はmicroSDカードを抜かないでください。
- 各機能のサブメニューで「赤外線送信」を選択しても送信できます。
- 本体／microSDデータフォルダ、メモ帳、プロフィールからの送信は「1件送信」のみ可能です。送信したいデータを選択してアプリ（送信）／■（送信）を押してください。
- 著作権保護データは送信できません。
- シークレット設定に登録されているデータは、「シークレット〈M427〉」を「表示する」に設定して送信してください。
- アドレス帳を全件送信する場合は、プロフィールも送信されます。ただし、アドレス帳の登録が0件の場合は送信できません。
- アドレス帳、プロフィール、スケジュールで画像を含んでいる場合は「画像ありで実行」／「画像なしで実行」／「中止」を選択できます。
- シンプルショット送信は高速でデータを転送できるIrSS™機能を採用しています。IrSS™機能とはIrSimple1.0規格準拠の片方向通信機能（Home Appliance Profile）を表します。
- シンプルショット送信はIrSimple™対応機種にのみ利用できます。シンプルショット送信で送信できるデータ件数は1件のみです。
- データの種類によっては、データフォルダからファイルを選択して、メール（登録/受IrSS）長押しの簡単な操作で送信できることもあります。

アラーム

指定した時刻にアラーム音を鳴らす機能です。スヌーズ機能（アラーム音を止めても、一定時間おきに再度アラーム音が鳴る機能）も利用できます。アラームは10件まで登録できます。

1 待受画面で■▶「ツール」▶■▶「時計／カレンダー」▶■▶「アラーム」▶■
アラームの一覧画面が表示されます。

2 設定したいアラームを選択▶■（編集）

3 項目を選択▶■▶アプリ（保存）

	アラーム時刻	アラーム時刻を設定
	繰返し	アラーム通知の繰り返しを曜日などで指定
	アラーム名	全角最大6文字（半角最大12文字）
	アラーム音	アラーム音を設定（→P.283）
	スヌーズモード	1～10分の範囲でスヌーズ時間を設定
	アラーム音量	アラーム音量を調節（→P.283）
	アラーム画像	通知の際にディスプレイ表示させる画像を選択（→P.283）
	バイブレータ	バイブレータを設定（→P.283）
	優先設定	マナーモード設定中にアラーム設定時刻になったときに、アラーム音量やバイブレータなどをアラームの設定で通知する（アラーム優先）／マナーモードの設定で通知する（マナー優先）を選択

■ お知らせ

- アラームを「ON」に設定すると、待受画面に「 」が表示されます。また、「OFF」に設定すると「 」が消え、編集した内容を保存したままアラームの設定を無効にできます。
- 手順1のあとアラームを選択して詳細（詳細）を押すと、アラームの設定が確認できます。
- 手順1のあとアラームを選択してアプリ（ON／OFF）を押すと、アラームの「ON」／「OFF」を切り替えることができます。
- 手順1のあとアラームを選択▶詳細（詳細）▶詳細（リセット）▶「はい」▶■と操作すると、編集したアラームをお買い上げ時の設定に戻せます。
- マナーモードを「ドライブ」に設定中は、アラーム優先に設定していても、マナーモードの設定で通知します。
- アラーム音に着うたフル®、ビデオクリップデータを設定した場合は、スヌーズモードは無効になります。
- アラーム音に画像付きの音データを選択した場合は「 (アラーム画像)」の設定ができません。

繰返し

1 「 (繰返し)」を選択▶■▶繰り返し周期を選択▶■
「曜日指定」を選択した場合は、曜日を選択▶■（ON）▶アプリ（完了）と操作します。
曜日は複数選択可能です。選択を解除する場合は■（OFF）を押します。また■を長押しで全選択／全解除ができます。

■ お知らせ

- 「平日」を選択した場合は、カレンダーの色が「赤色」以外の日にアラームを鳴らします。「休日」を選択した場合は、カレンダーの色が「赤色」の日にアラームを鳴らします。

設定した時刻になると

1 アラームが鳴る
■（停止）を押すとアラーム音が止まります。
そのままにしておくと、アラーム音は約1分後に止まります。アラーム音に着うたフル®、ビデオクリップを設定している場合は最後まで再生したあとに通知が止まります。

■ お知らせ

- スヌーズモードを「ON」に設定している場合は、設定時刻からスヌーズ時間ごとにアラーム音が鳴ります。5回目の通知終了後にスヌーズモードは自動的に解除されます。途中で解除するには、消音または①を長押しします。また、お知らせ画面で「 」を選択したときもスヌーズモードを解除できます。
- ■（停止）のほか、いずれかのキーを押してもアラーム音は止まります。

■お知らせ

- 電話の発信中、通話中、着信中、外部メモリ転送モード通信中は、設定した時刻になっても通知されません。これらの動作が終了してから通知されます。
- スヌーズモード中にスケジュールアラーム、タスクアラームなどのアラーム通知時刻となった場合は、スヌーズモードが解除されたあとに、通知されます。
- 複数の通知が同時に発生した場合の優先順位は、次のとおりです。
  アラーム＞スケジュールアラーム＞タスクアラーム＞カウントダウンタイマー
- イヤホン接続中はアラーム音がイヤホンとスピーカーの両方から聞こえます。スピーカーが消音になるように設定できます。（→P.285）アラーム音量が「OFF」またはマナーモード（アラーム音量が「OFF」の場合）設定中は、イヤホンからのみ最小音量でアラーム音が聞こえます。

カウントダウンタイマー

あらかじめ設定した時間をカウントダウンし、設定された時間が経過したときにタイマー音でお知らせします。

1 待受画面で■▶「ツール」▶■▶「時計／カレンダー」▶■▶「カウントダウンタイマー」▶■

2 時間を入力（1秒～60分）▶■（開始）

カウントダウンを開始します。
カウントダウン中に■（停止）を押すと、カウントダウンを一時停止します。■（再開）を押すと、カウントダウンを再開します。回（リセット）を押し、■（開始）を押すとカウントダウンを始めからやり直します。

■お知らせ

- カウントダウンタイマー画面でｱﾗｰﾑ（アラーム音）を押すと、カウントダウンタイマーのアラーム通知動作を設定できます。
- カウントダウン中に電話がかかってきた場合、安心ナビアプリが自動的に起動した場合、他のアラーム通知があった場合は、カウントダウンは中断されずに電話を受けたり、安心ナビの操作をしたり、アラーム音を止めたりできます。

0秒に達すると

1 アラーム音が鳴る

■（停止）を押すとアラーム音が止まります。そのままにしておくと、約1分後に止まります。

■お知らせ

- ■（停止）のほか、いずれかのキーを押してもアラーム音は止まります。
- 複数の通知が同時に発生した場合の優先順位は、次のとおりです。
  アラーム＞スケジュールアラーム＞タスクアラーム＞カウントダウンタイマー
  ただし、カウントダウンタイマーのアラーム通知中に他の通知があった場合は、カウントダウンタイマーが優先されます。
- イヤホン接続中はアラーム音はイヤホンとスピーカーの両方から聞こえます。スピーカーが消音になるように設定できます。（→P.285）アラーム音量が「OFF」またはマナーモード（アラーム音量が「OFF」の場合）設定中は、イヤホンからのみ最小音量でアラーム音が聞こえます。

ストップウォッチ

1/100秒単位で60分まで計測できます。ラップタイム（区間ごとの経過時間）とスプリットタイム（開始からある区間までの合計経過時間）を記録できます。

1 待受画面で■▶「ツール」▶■▶「時計／カレンダー」▶■▶「ストップウォッチ」▶■

お買い上げ時はラップタイム計測画面が表示されます。
回（SPLIT）を押すとスプリットタイム計測に切り替わります。

2 ■（開始）

計測を開始します。1つの区間の計測結果を記録し、続けて次の区間のラップタイム／スプリットタイムを計測するときは回（LAP）／回（SPLIT）を押します。■（停止）で計測を停止します。

■ お知らせ

- アプリ（リセット）を押すと、計測した記録を破棄します。
- 計測経過タイム（ラップタイム／スプリットタイム）は、最大5件まで記録できます。計測経過タイムが5件を超えると、古い記録から削除されます。
- 最大計測時間（60分）を超えると、自動的に計測を停止します。
- 計測の途中で計測方法（ラップタイム／スプリットタイム）を変更することはできません。切り替える場合は、計測を停止させて、リセットを行ってください。

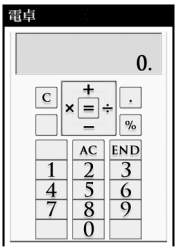
電卓

10桁までの足し算、引き算、かけ算、わり算ができます。

1 待受画面で■▶「ツール」▶■▶「電卓」▶■▶計算式を入力

操作キー	操作内容
1〜9、0	数字
↑	＋（足し算）
↓	－（引き算）
←	×（かけ算）
→	÷（わり算）

操作キー	操作内容
■	＝（計算結果）
アプリ（.）	.（小数点）
2（%）	%計算
四（C）	入力した数字を消去
クリア/メモ（AC）	計算結果をすべて消去



電卓画面

■ お知らせ

- 計算結果が10桁を超える場合や0によるわり算の場合は「E」が表示されます。

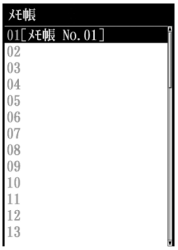
メモ帳

メモ帳に簡単なメモを登録できます。1件あたり全角最大512文字（半角最大1024文字）、最大50件まで登録できます。

1 待受画面でクリア/メモ▶「メモ帳」▶■

2 メモを入力したい欄を選択▶四（編集）▶メモを入力▶■

入力済みのメモ帳を選択して■（詳細）を押すとメモ帳詳細画面を表示します。
クリア/メモを押すとメモ帳一覧画面に戻ります。



メモ帳一覧画面

■ お知らせ

- メモ帳の一覧画面や詳細画面のサブメニューで「カレンダー登録」を選択すると、カレンダー側からメモ帳を参照することができます。
- メモ帳一覧画面のサブメニューで「メモ帳制限」を選択すると、選択したメモ帳データにメモ帳制限の「ON」／「OFF」を設定できます。「ON」に設定すると一覧画面に「🔑」が表示されて、メモ帳参照時にロックNo.の入力が必要になります。

Myボイスメモ

自分の声を録音できます。

1 待受画面で[クリア/メモ]▶「Myボイスメモ」▶[■]▶「●録音」▶[■]▶[■]（録音）
録音中は充電／着信ランプが点滅します。

2 [■]（終了）
録音を停止し、本体データフォルダの「ボイスフォルダ」に保存されます。

■お知らせ

- 録音したMyボイスメモのタイトルは、「YYMMDD_HHMM~nn」（年＋月＋日_時＋分~連番）で表示されます。
- 録音中に電話がかかってきたり、アラームの通知があったりすると、録音を停止してそれまでの録音データを保存します。
- 録音可能時間は約85時間です。データフォルダに他のデータがある場合は録音可能時間が短くなります。
- クローズポジションでも録音を継続できますが、マイク（送話口）をふさいでしまうため正しく録音されない場合があります。

Myボイスメモを再生する

1 待受画面で[クリア/メモ]▶「Myボイスメモ」▶[■]▶「▶再生」▶[■]

2 再生するMyボイスメモを選択▶[■]
再生中の操作は「データの表示／再生」（→P.144）を、削除するには「情報を削除する」（→P.47）をご参照ください。

スマートリンク辞書

W64SHでは、スマートリンク辞書を利用して単語の意味などを検索することができます。スマートリンク辞書は、「内蔵辞書／日英翻訳」と「ネット辞書」の2種類があります。「内蔵辞書／日英翻訳」はW64SHに内蔵されている辞書から検索し、「ネット辞書」は辞書サーバから検索し、結果を表示します。また、スマートリンク辞書は文字入力中やメール表示画面からも起動することができます。

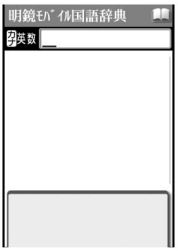
内蔵辞書／日英翻訳の利用

内蔵辞書／日英翻訳では単語の検索や日英翻訳ができます。

辞書の切り替え

1 待受画面で[■]▶「ツール」▶[■]▶「スマートリンク辞書」▶[■]▶「内蔵辞書／日英翻訳」▶[■]
内蔵辞書／日英翻訳画面が表示されます。

2 [切替]（切替）▶「明鏡モバイル国語辞典」／「ジーニアスモバイル英和辞典」／「ジーニアスモバイル和英辞典」／「日英翻訳」▶[■]



内蔵辞書／日英翻訳画面

「明鏡モバイル国語辞典」©2005-2008 Taishukan
「ジーニアスモバイル英和辞典」©2005-2008 Taishukan
「ジーニアスモバイル和英辞典」©2005-2008 Taishukan

インクリメンタル検索モードで検索

1 内蔵辞書／日英翻訳画面で[アプリ]（メニュー）▶「検索方法設定」▶[■]▶「インクリメンタル検索」▶[■]

2 検索したい単語を入力
1文字入力するごとに、それに一致する検索結果一覧画面が表示されます。

3 検索候補を選択▶[●]
詳細情報が表示されます。

■お知らせ

- インクリメンタル検索モード時に入力文字種を切り替える場合は、[✉]を押します。また、サブメニューから「入力文字種切替」を選択しても切り替えることができます。
- 詳細情報画面で[↩]▶英単語を選択▶[●]と操作すると、英単語を音声で再生できます。

キーワード検索モードで検索

1 内蔵辞書／日英翻訳画面で[アプリ]（メニュー）▶「検索方法設定」▶[●]▶「キーワード検索」▶[●]

2 検索ウィンドウを選択▶[●]▶検索したい単語を入力▶[●]▶「検索」▶[●]
検索結果一覧画面が表示されます。

3 検索候補を選択▶[●]
詳細情報が表示されます。

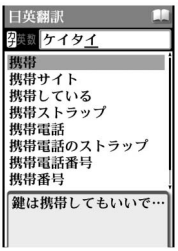
日英翻訳

日本語の文章を英語の文章に翻訳することができます。

1 内蔵辞書／日英翻訳画面で[切替]（切替）▶「日英翻訳」▶[●]

2 翻訳したい文章のキーワードを入力▶[●]
キーワードの候補が表示されます。続けてキーワードを入力すると、翻訳する文章を絞り込むことができます。
候補からキーワードを選択するには、[音量]▶候補を選択▶[●]と操作します。

3 翻訳したい文章を選択▶[●]
翻訳結果が表示されます。
[●]（[音声]）を押すと翻訳結果が音声で再生されます。



■お知らせ

- 翻訳結果画面で[編集]（編集）▶[◀▶]で変更する文字を選択▶文字を入力または変更▶[●]▶[編集]（完了）と操作すると、編集した内容に応じて翻訳結果が変更されます。
- 日英翻訳で使える機能については、「内蔵辞書／日英翻訳で使える機能」をご参照ください。

内蔵辞書／日英翻訳で使える機能

1 内蔵辞書／日英翻訳画面で[アプリ]（メニュー）▶項目を選択▶[●]
サブメニューの項目は画面によって異なります。

見出し語コピー	選択されている検索結果の見出し語をコピー
範囲指定コピー	検索結果の表示内容（日英翻訳は画面内の文字）を、最大128文字までコピー※
しおりをはさむ	選択されている検索結果をしおりに登録
履歴一覧	選択中の辞書の検索履歴を新しいものから最大20件まで確認
しおり一覧	選択中の辞書で登録されたしおりを最大20件まで確認
ネット辞書で検索	ネット辞書に切り替えて検索（ただし、すでにネット辞書が起動している場合、起動することはできません。）
入力文字種切替	インクリメンタル検索モード時の入力文字種を切り替え
検索方法設定	インクリメンタル検索とキーワード検索の切り替え
文字サイズ設定	文字サイズの変更
音声設定	辞書の英単語や翻訳された英文の再生音量と再生速度を設定（[音量]：再生音量、[◀▶]：再生速度）
辞書の使い方	選択中の辞書の使いかたの説明を表示
音声再生	詳細情報画面に表示されている英単語を音声で再生

編集画面に貼付	詳細情報画面の見出し語をメール本文やメモ帳などの文字入力画面に貼り付け • 文字入力画面からスマートリンク辞書を起動した場合のみ利用できます。

※範囲指定内の改行は、スペースに変換されます。

■お知らせ

- マナーモードで音声着信音量を「OFF」に設定している場合は、スピーカーから音声は再生されません。
- 文字列から音声を合成して再生しているため、音声再生は正しい発音とは異なる場合があります。

ネット辞書の利用

辞書の切り替え

1 待受画面で■▶「ツール」▶■▶「スマートリンク辞書」▶■▶「ネット辞書」▶■▶「はい」▶■

ネット辞書画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されます。

ネット辞書画面

2 辞書ウィンドウを選択▶■▶検索する辞書を選択▶■

お買い上げ時に使用できる辞典は次のとおりです。

- 「明鏡国語辞典MX.net」
  ©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2008
  編集・発行：大修館書店
- 「デジタル大辞泉」
  ©小学館
- 「ジーニアス英和辞典MX.net」
  ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2008
  編集・発行：大修館書店
- 「プログレッシブ英和中辞典」
  ©小学館
- 「ジーニアス和英辞典MX.net」
  ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2008
  編集・発行：大修館書店
- 「プログレッシブ和英中辞典」
  ©小学館
- 「ウィキペディア」
- 「イミダス百科」
  ©集英社
  編集：集英社
- 「日本大百科全書（ニッポニカ）」
  ©小学館
- 「Hot Pepper Pockets」

■お知らせ

- アプリ（メニュー）▶「辞書リスト更新」▶■と操作すると、サーバに接続して最新の辞書リストに更新できます。
- 手順2で「すべての辞書」を選択すると、使用できるすべての辞書が検索対象となります。

ネット辞書で検索

1 ネット辞書画面で検索ウィンドウを選択▶■▶検索したい単語を入力▶■▶「検索」▶■

検索結果一覧画面が表示されます。

2 検索候補を選択▶■

詳細情報が表示されます。

■お知らせ

- 「ネット辞書」を利用する場合は、通信料がかかります。また、設定により、通信確認画面が表示されることがあります。
- 詳細情報画面で「さらに詳しく」が表示されている場合は、ブラウザを起動してサイト上の詳細情報を閲覧できます。
- 「EZweb制限〈M422〉」が設定されている場合は、ネット辞書をご利用できません。ロックNo.を入力し■を押して設定を一時的に解除してください。
- 通話中はネット辞書で検索できません。
- 「ウィキペディア」はGNU Free Documentation Licenseに従って利用することができます。
- 「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ネット辞書をご利用できません。

ネット辞書で使える機能

1 ネット辞書画面で[アプリ]（メニュー）▶項目を選択▶[●]

サブメニューの項目は画面によって異なります。

見出し語コピー	選択されている検索結果の見出し語をコピー
範囲指定コピー	検索結果の内容を最大128文字までコピー※
しおりをはさむ	選択されている検索結果をしおりに登録
履歴一覧	ネット辞書の検索履歴を新しいものから最大20件まで確認
しおり一覧	ネット辞書で登録されているしおりを最大20件まで確認
内蔵辞書で検索	内蔵辞書／日英翻訳に切り替えて検索（ただし、すでに内蔵辞書／日英翻訳が起動している場合、起動することはできません。）
辞書リスト編集	使用できる辞書のリストを編集
辞書リスト更新	サーバに接続し、使用できる辞書のリストを更新
検索方法設定	選択されているネット辞書の見出し語の検索方法を設定
検索範囲設定	選択されているネット辞書の検索範囲を設定
文字サイズ設定	文字サイズの変更
通信確認画面設定	ネットワークに接続する際の確認画面を表示するかしないかを設定
利用規約	ネット辞書の利用規約を表示
出典について	ネットワークに接続し、出典の詳細情報を表示
辞書の使い方	ブラウザを起動し、辞書の使いかたの説明を表示

※範囲指定内の改行は、スペースに変換されます。

EZケータイアレンジ

メインディスプレイのウィンドウのデザインやカラー、アイコン、着信音などをまとめて変更することができます。

1 待受画面で[●]▶「ツール」▶[●]▶「ケータイアレンジ設定」▶[●]

オリジナル	お買い上げ時の設定データから選択
データフォルダ	データフォルダに保存されているデータから選択
EZwebで探す	EZwebへ接続し、データをダウンロード
メーカーサイトで探す	SH@ez（シャープ携帯専用サイト）へ接続

データを選択して[ロ]（再生）を押すと、ケータイアレンジファイルを確認できます。

2 「設定する」▶[●]

■お知らせ

- 待受画面で[●]▶[アプリ]（サブメニュー）▶「ケータイアレンジ設定」▶[●]と操作したり、データフォルダからデータを選択して設定することもできます。
- 「有効期限」や「有効期間」制限付きのケータイアレンジファイルがあります。
- ケータイアレンジファイルを設定した機能は設定値が「ケータイアレンジに従う」と表示されます。
- メインメニューの項目数は、設定したケータイアレンジファイルによって異なる場合があります。
- 設定したケータイアレンジファイルによっては、音が途切れる場合があります。
- ケータイアレンジファイルによっては、個別の設定変更ができない場合があります。ただし、アラームの音／画像とそのケータイアレンジファイルに登録されていない設定については個別に変更できます。
- 設定したケータイアレンジファイルの有効期限／期間が満了した場合は、お知らせ画面に「[限]」が表示されます。EZケータイアレンジの設定は、このケータイアレンジファイルを利用する前の設定値になります。ただし、複数の機能を起動しているときは、設定が解除されないことがあります。
- 複数の機能を起動しているときは、ケータイアレンジファイルの設定ができません。他の機能を終了してから設定が可能になります。
- 設定したケータイアレンジファイルによっては、機能によりデザインやカラーが変更されない場合があります。

カレンダー

1 待受画面で■▶📅（カレンダー）

月間表示画面が表示されます。

📺／📼、✉／Eを押すと前月／次月の画面が表示されます。

2 日付を選択▶■

当日表示画面が表示されます。

登録があれば、誕生日（プロフィール、アドレス帳）、タスクリスト、スケジュール、メモ帳、カメラ撮影画像の順で表示されます。

↔で他の日付を確認できます。

3 表示したいデータを選択▶■（詳細）

タスクリスト、スケジュールを表示中に📖（編集）を押すと編集画面になります。

月間表示画面

■ お知らせ

- 待受画面で■▶「ツール」▶■▶「時計／カレンダー」▶■▶「カレンダー／スケジュール」▶■と操作しても、カレンダーを表示できます。
- お買い上げ時は、日本の祝日（2008年9月現在）があらかじめ登録されています。記念日や祝日を追加／編集できます。
- シークレット設定に登録されているスケジュールやタスクリスト、誕生日を表示するには、「シークレット〈M427〉」を「表示する」に設定してください。また、カレンダーのサブメニューで「シークレット一時表示」を選択すると、シークレットデータを一時的に表示できます。（→P.47）
- データを登録してカレンダーに表示したり、休日を設定／解除したりできるのは、2000年1月1日～2027年12月31日までです。
- カレンダーに表示されるアイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	意味
	プロフィール／アドレス帳に登録されている誕生日
未（赤色）	期限切れで未完了のタスクリスト
未（青色）	未完了のタスクリスト
など	スケジュールで設定したカテゴリ

アイコン	意味
	メモ帳（メモ帳制限が「ON」のデータには が付加）
など	カメラで撮影した画像
期限なし	期限日時のないタスクリスト
	アラーム設定があるスケジュールやタスクリスト

- 終了日時を過ぎたスケジュールや期限の切れたタスクリストは、文字色を変えてカレンダーに表示されます。

カレンダーで使える機能

1 月間表示画面／当日表示画面でアプリ（サブメニュー）▶項目を選択▶■

サブメニューの項目は操作するときの状況によって異なります。

新規登録	**スケジュール**	スケジュールを新規に作成（→P.326）
	タスクリスト	タスクリストを新規に作成（→P.328）
	メモ帳	*1* **登録したいメモを選択▶■（登録）** • 📖（詳細）を押すとメモ帳詳細画面を表示します。
スケジュール一覧	スケジュールの一覧を表示（→P.327）	
タスクリスト一覧	タスクリストの一覧を表示（→P.328）	
削除／登録解除	スケジュール／タスクリストを1件削除またはメモ帳の登録1件解除 • 当日表示画面から、あらかじめ削除／解除するデータを選択しておきます。	
日付移動	指定した日付の月間表示画面／当日表示画面を表示	
Eメール添付	スケジュール／タスクリストをEメールへ添付（→P.90）	
デコレーションメール添付	スケジュール／タスクリストをデコレーションメールへ添付（→P.91）	

休日設定／解除	選択した条件に該当する日を休日（赤色）に設定／解除	
	カレンダーで設定	1 日付を選択▶●（切替）▶アプリ（実行）
	曜日指定	選択した曜日を休日（赤色）に設定／解除 1「休日設定」／「休日解除」▶●▶曜日を選択▶●▶アプリ（設定）
	期間設定	選択した期間を休日（赤色）に設定／解除 1「休日設定」／「休日解除」▶●▶開始日を入力▶●▶終了日を入力▶●
	リセット	休日設定をお買い上げ時の状態に戻す 1 ロックNo.を入力▶●▶「はい」▶●
祝日設定／解除	祝日を設定／解除	
カレンダー表示切替え	月間カレンダーの表示を4パターンから選択 1 表示方法を選択▶●	
シークレット一時表示	シークレットデータを一時的に表示（→P.47）	

スケジュール

あらかじめ指定した日時になるとスケジュールを表示し、アラーム音やバイブレータなどでお知らせします。スケジュールは最大200件まで登録できます。

1 カレンダーを表示して□（新規）▶「スケジュール」▶●

2 項目を選択▶●▶アプリ（登録）

用件	全角最大20文字（半角最大40文字）
分類	固定の7種類と任意の絵文字の中から選択
開始日時	2000年1月1日0時0分～2027年12月31日23時59分の範囲で設定
終了日時	2000年1月1日0時0分～2027年12月31日23時59分の範囲で設定 開始日時が未設定の場合や開始日時より過去の日時は設定不可
繰返し設定	周期、期限（回数）、例外日を設定
アラーム設定	開始日時が未設定の場合は設定不可（→P.327）
場所	全角最大20文字（半角最大40文字）
詳細	全角最大40文字（半角最大80文字）
画像	データフォルダ、フォト撮影、ムービー撮影から表示する画像を設定
シークレット設定	スケジュールの内容を表示しないように設定。「ON」に設定すると、「シークレット〈M427〉」を「表示する」に設定したときに表示

■ お知らせ

- カレンダーのサブメニューで「新規登録」▶●▶「スケジュール」▶●と操作しても登録できます。
- 用件または詳細を入力していないと登録できません。
- 開始日時を未設定のまま登録した場合や開始日時の時刻を「0：00」と入力して終了日時を未設定で登録した場合は、終日データ（開始時刻「0：00」、終了日時は開始日の翌日の「0：00」に設定）と同様に、カレンダー（当日表示画面）に「終日」が表示されます。

繰返し設定

1「(繰返し設定)」を選択▶●▶設定したい項目を選択▶●

繰返し周期	1 繰り返し周期を選択▶● 「毎週」を選択した場合は、繰り返す曜日を選択したあと、アプリ（設定）を押してください。
繰返し期限	1「あり」▶●▶繰り返し回数を入力（1～99回）▶●
繰返し例外日	1「あり」▶●▶繰り返し例外日を選択▶●▶アプリ（完了） 最大20件までの日付を選択できます。 選択を解除するには、選択されている日付を選択し●（解除）／□（全解除）を押します。

2 アプリ（確定）

□（日付確認）を押すと繰り返し日を確認できます。

■お知らせ

- 「繰返し」設定をするには、あらかじめ開始日時と終了日時の日付を同じにするか、終日データに設定しておいてください。
- 「繰返し」例外日を指定するとスケジュール編集画面に「(赤色)」が表示されます。

アラーム設定

1 「(アラーム設定)」を選択▶■▶「ON」▶■

2 項目を選択▶■▶アプリ(確定)

(アラーム時刻)	開始日時の何分前にお知らせするかを設定 *1* 時間を入力▶■
(アラーム音)	アラーム音を設定(→P.283) • 画像付きの音データを選択した場合は「(アラーム画像)」の設定ができません。
(アラーム音量)	アラーム音量、アラーム画像、バイブレータを設定(→P.283)
(アラーム画像)	
(バイブレータ)	
(優先設定)	マナーモード設定中にアラーム設定時刻になったときに、アラーム音量やバイブレータなどをアラームの設定で通知する(アラーム優先)/マナーモードの設定で通知する(マナー優先)を選択

■お知らせ

- スケジュールをアラーム音が鳴る設定で登録すると待受画面に「」が表示されます。また、スケジュール、タスクリストの両方をアラーム音が鳴る設定で登録すると、待受画面に「」が表示されます。ただし、アラーム指定時刻が現在時刻より未来の場合に限ります。
- 登録済みのスケジュールのアラーム設定を「OFF」に変更すると、アラーム設定の各項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

内容を確認する

1 カレンダーを表示してアプリ(サブメニュー)▶「スケジュール一覧」▶■

2 確認したいスケジュールを選択▶■(詳細)

スケジュール詳細画面で□(編集)を押すと、内容を編集することができます。

■お知らせ

- スケジュール一覧画面でアプリ(サブメニュー)▶「削除」▶■と操作すると、「終了データ一括削除」が表示され、現在の時刻より過去のスケジュールをまとめて削除できます。
- 画像を設定しているスケジュールの詳細画面で画像を選択して■を押すと、画像の再生画面が表示されます。

アラームを指定した時刻になると

1 アラーム音が鳴る

用件が表示されます。通知されたのがシークレット設定を「ON」に設定しているスケジュールの場合、「シークレット〈M427〉」を「表示しない」に設定していると用件は表示されません。

2 通知後約1分経過またはいずれかのキーを押す

アラーム音が止まります。

■お知らせ

- 電話の発信中、通話中、着信中、外部メモリ転送モード通信中、アラームがスヌーズ中の場合は、設定した時刻になっても通知されません。これらの動作が終了してから通知されます。
- 複数の通知が同時に発生した場合の優先順位は、次のとおりです。
  アラーム>スケジュールアラーム>タスクアラーム>カウントダウンタイマー
- アラーム音はイヤホンとスピーカーの両方から聞こえます。イヤホンを接続した場合は、「音出力先〈M242〉」の設定に従います。(→P.285)
- アラーム音量が「OFF」またはマナーモード(スケジュール/タスクアラーム音量が「OFF」の場合)設定中は、イヤホンからのみ最小音量でアラーム音が聞こえます。

タスクリスト

大切な用事や予定などを最大50件まで登録できます。また、あらかじめ指定した日時になるとタスクリストを表示し、アラームやバイブレータなどでお知らせします。

1 待受画面で■▶「ツール」▶■▶「時計／カレンダー」▶■▶「タスクリスト」▶■▶ 📖（新規）

タスクリスト一覧画面でアプリ（サブメニュー）▶「新規登録」▶■と操作しても登録できます。

2 項目を選択▶■▶アプリ（登録）

	用件	全角最大20文字（半角最大40文字）
	分類	固定の7種類と任意の絵文字の中から選択
	期限	日時タスクの期限を設定。アプリ（期限なし）を押すと、期限なしに設定
	アラーム設定	期限日時が未設定の場合は設定不可（→P.327）
未	状態	「未完了」／「完了」／「期限切れ未完了」から選択
	シークレット設定	タスクリストの内容を表示しないように設定。「ON」に設定すると、「シークレット〈M427〉」を「表示する」に設定したときに表示

■ お知らせ

- カレンダーを表示して📖（新規）▶「タスクリスト」▶■と操作しても登録できます。
- 用件を入力していないと登録できません。
- タスクリストをアラーム音が鳴る設定で登録すると、待受画面に「 」が表示されます。また、スケジュール、タスクリストの両方をアラーム音が鳴る設定で登録すると、待受画面に「 」が表示されます。ただし、アラーム指定時刻が現在時刻より未来の場合に限ります。
- 入力した期限日時が現在の日時より過去の場合は、状態が「未（赤色）」（期限切れ未完了）と表示されます。
- 登録済みのタスクリストのアラーム設定を「OFF」に変更すると、アラーム設定の各項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

内容を確認する

1 待受画面で■▶「ツール」▶■▶「時計／カレンダー」▶■▶「タスクリスト」▶■

↔で「全データ」／「期限切れ」／「未完」／「完了」と表示を切り替えることができます。

未（赤色）：期限が過ぎたタスク（期限切れ未完了）　完：完了したタスク（完了）
未（青色）：終了していないタスク（未完了）　：アラーム設定があるタスク

2 確認したいタスクリストを選択▶■（詳細）

タスクリスト詳細画面で📖（編集）を押すと、内容を編集することができます。

■ お知らせ

- タスクリスト詳細画面で■（完了）を押すと、完了日時として現在時刻が自動的に入力されます。もう一度■（未完了）を押すと「未完了」／「期限切れ未完了」に戻ります。
- タスクリスト詳細画面で📖（編集）を押し、「未完了」／「期限切れ未完了」タスクの完了日時を変更した場合も、完了タスクとなります。
- アラーム設定が「ON」でも、状態を「完了」にしたタスクはアラームが鳴りません。
- アラーム指定時間になった場合の操作は、スケジュールの「アラームを指定した時刻になると」（→P.327）をご参照ください。

キー操作無効

クローズポジションのときに誤操作を起こさないよう、サイドキーとディスプレイ面キーをロックします。

1 待受画面で■を長押し

「 」表示中は、キーを使った操作ができません。設定を解除するときは、もう一度■を長押しします。

■ お知らせ

- 着信時は、（サイドキー）を押すか、オート着信で通話できます。通話中は設定が一時解除され、通話終了後に再び設定が有効になります。
- クローズポジション時に■を長押しすると、設定は一時解除されます。

簡易ライト

モバイルライトを簡易ライトとして利用できます。

1 待受画面で㊙を長押し

ライトが点灯します。いずれかのキーを押すと消灯します。約30秒を経過すると自動的に消灯します。

■ お知らせ

- クローズポジションでも、ライトを点灯することができます。
- 簡易ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、簡易ライト点灯中は、発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。
- 簡易ライト点灯中に電話がかかってきたり、メールを受信したり、アラーム／タスクリスト／スケジュールのアラーム通知、データ転送などがあったりした場合は、ライトが消えます。
- 簡易ライトを繰り返し、または長時間ご使用になると、W64SHのご利用可能時間が短くなります。
- EZアプリ／待受EZアプリでモバイルライトを使用中は、簡易ライトを利用できません。

防犯ブザー〈M26〉

大音量でブザーを鳴らして、周囲の注意を向けることができます。

防犯ブザーを設定する

防犯ブザー機能を「ON」に設定していないと、防犯ブザーを鳴らすことができません。お買い上げ時、防犯ブザーは「OFF」に設定されています。

1 待受画面で■ 2 6 ▶「ON」▶■

防犯ブザーを鳴らす

1 待受画面で 0 を長押し

防犯ブザーが鳴ります。ロックNo.を入力すると防犯ブザーが止まります。

■ お知らせ

- ブザー音と音量は変更できません。
- 防犯ブザー設定が「OFF」の場合は、待受画面で 0 を長押しすると防犯ブザー設定画面が表示されます。
- 防犯ブザー設定が「ON」の場合は、「オートロック〈M411〉」設定中／「クローズロック〈M412〉」設定中／「電波OFFモード〈M52〉」設定中でも 0 を長押しすると防犯ブザーが鳴ります。
- マナーモードを設定している場合やイヤホンを接続している場合でも、本体スピーカーから防犯ブザーが鳴ります。
- 緊急通報番号（110、119、118）へ電話をかけても防犯ブザーを止めることができます。
- 防犯ブザーが鳴っている間は着信できません。また緊急通報以外の発信はできません。
- W64SH本体のスピーカーからの距離が10cm程度の場合、音量は約94dBとなります。また、周囲の環境などによっては、周辺の第三者にブザー音が聞き取りにくい場合があります。
- 防犯ブザーは、犯罪防止や安全を保障するものではありません。万一の際の損害について当社として何ら責任を負うものではありません。
- 耳元で防犯ブザーを鳴らさないでください。耳に障がいを起こす原因となります。
- お子様などの誤操作によって防犯ブザーが鳴動する可能性がありますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 待受画面表示中でも、待受EZアプリ実行中など他の機能が動作している間は防犯ブザーは鳴りません。

ケータイアップデートの利用〈M5#1〉

ケータイアップデートについて

ケータイアップデートとは、W64SHのソフトウェアを更新する機能です。ネットワークに接続して、ソフトウェアの更新が必要かどうかを確認します。

更新が必要な場合：ソフトウェア更新用データをダウンロードして、更新します。

更新が不要な場合：そのまま引き続きご利用いただけます。

なお、ソフトウェアを更新する方法は次の2通りがあります。

自動更新	auからのソフトウェア更新のお知らせを受信した場合に更新	
	自動更新型	お知らせを受信したときに自動的に更新 • 自動設定（→P.332）を「OFF」にすると、お知らせを受信したときに、更新の実行／中止が選択できます。
	ユーザ承認型	お知らせを受信したときに確認画面を表示 • 更新の実行／中止が選択できます。
手動更新	ソフトウェアを更新する必要があるかチェックして更新	

ご利用に際してのご注意

- ソフトウェアの更新にかかわる情報料・通信料は無料です。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはauお客様センター（157／通話料無料）までお問い合わせください。
- ソフトウェアの更新には時間がかかることがあります。
- ソフトウェアの更新中はW64SHを操作できません。緊急通報番号（110、119、118）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新中は移動しないでください。
- ソフトウェア更新中に電池パックを外さないでください。電池パックを外すと、ケータイアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新に失敗した場合、W64SHが使用できなくなる場合があります。W64SHが使用できなくなった場合は、auショップやPiPit（ただし、一部店舗は除きます）にお持ちくださいますよう、お願いいたします。
- ソフトウェアを更新しても、au電話に登録された各種データ（アドレス帳、E／Cメール、フォト、音楽、EZアプリなど）や設定情報は変更されません。ただし、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もありますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをお勧めします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合は、更新に失敗します。また、更新途中で電池残量が不足すると更新に失敗します。
- 電波状態を確認してください。電波の受信状況が悪い場所では、ケータイアップデートに失敗することがあります。
- ケータイアップデートに失敗したときや中止されたときは、「アップデート開始」（→P.331）によりケータイアップデートを実行し直してください。
- 中断中の機能があるときはケータイアップデートをご利用できません。中断中の機能を終了して「アップデート開始」よりケータイアップデートを実行してください。
- ソフトウェアが更新されたあとで、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります。（連続更新）
- 「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用できません。

手動で更新（アップデート開始）

W64SHのソフトウェア更新が必要か確認し、更新が必要な場合はW64SHのソフトウェアを更新できます。

1 待受画面で■ 5 # 1 ▶「アップデート開始」▶■▶■（実行）

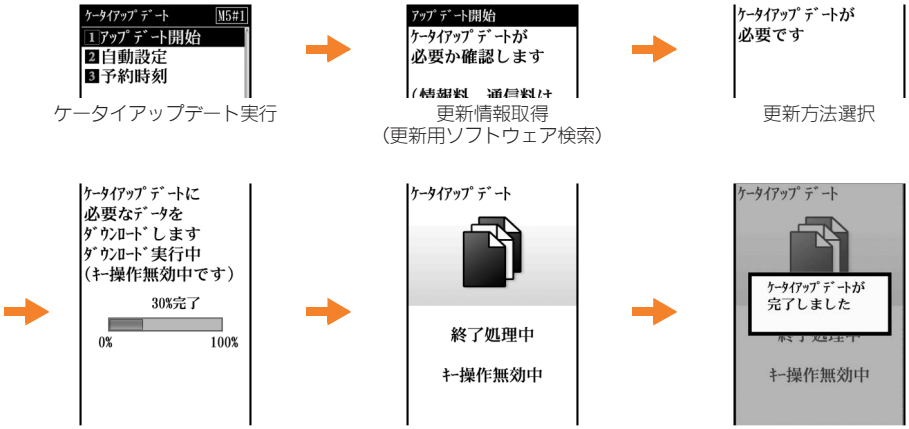
アップデートが必要ない場合は、「ケータイアップデートの必要はありません」と表示されます。

2 ■（実行）

ソフトウェア更新用データのダウンロードを開始し、W64SHのソフトウェアが更新されます。

ソフトウェアをあとで更新するときは、アプリ（予約）を押し、更新開始時刻を入力し、■（予約）を押します。（予約更新）

ソフトウェア更新の流れ



ケータイアップデート実行 → 更新情報取得（更新用ソフトウェア検索） → 更新方法選択 → 更新ファイルダウンロード※ → 更新結果通知・サーバへ更新結果通知 → 更新完了

※ダウンロードが完了すると、次の流れでソフトウェアが更新されます。

電源が切れる → 電源が入る → W64SHのソフトウェアが更新される → 電源が切れる → 電源が入る

予約更新を変更する

1 待受画面で■ 5 # 1 ▶「予約時刻」▶■▶■（変更）▶日付／時刻を入力▶■（予約）

■お知らせ

- アップデート予約で設定できる日時は、現在日時の10分後から更新ソフトウェアダウンロード日時の7日後までです。
- 機能を中断中の状態で更新開始日時になると、auからのお知らせが表示されます。待受画面に戻ったあとにケータイアップデートの画面が表示されます。手動で更新するときは、「アップデート開始」よりケータイアップデートを実行してください。
- 予約更新を設定したあとで、「時計〈M55〉」の設定を変更すると予約更新が解除されます。更新するときは、「アップデート開始」よりケータイアップデートを実行してください。

自動で更新

W64SHが更新のお知らせを受信したときに、自動的にW64SHのソフトウェアを更新できます。

■ お知らせ

- 操作中に更新のお知らせを受信した場合は、待受画面に戻ったあとにケータイアップデートの画面が表示されます。

更新のお知らせ（自動更新型）受信時の動作を設定する（自動設定）

1 待受画面で■ 5 # 1 ▶「自動設定」▶■

2 「ON」／「OFF」▶■

「ON」／「OFF」の設定によって、auからのソフトウェア更新のお知らせ（自動更新型）を受信したときの動作が異なります。

ON	自動的に更新を開始
OFF	更新の実行／中止の選択が可能

更新のお知らせ（自動更新型）を受信したときは

「自動設定」が「ON」のとき

auからのソフトウェア更新のお知らせ（自動更新型）を受信したときに、自動的にW64SHのソフトウェア更新を開始します。

1 更新のお知らせを受信

ソフトウェア更新のお知らせ（自動更新型）を受信後、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードを開始し、W64SHのソフトウェアが更新されます。（自動更新）更新完了後、auからのお知らせが表示されます。

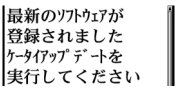
2 ■

「自動設定」が「OFF」のとき

auからのソフトウェア更新のお知らせ（自動更新型）を受信したときに、更新の実行／中止を選べます。

1 更新のお知らせを受信

auからのお知らせが表示されます。



2 ■▶■（実行）

ソフトウェア更新用データのダウンロードを開始し、W64SHのソフトウェアが更新されます。

■ お知らせ

- ソフトウェアをあとで更新する場合は、㊀（中止）を押してください。更新するときは「アップデート開始」（→P.331）よりケータイアップデートを実行してください。

更新のお知らせ（ユーザ承認型）を受信したときは

auから更新のお知らせ（ユーザ承認型）を受信したときの操作は、「更新のお知らせ（自動更新型）を受信したときは」と同様です。

ケータイアップデートに失敗したときは

ケータイアップデートを行い、失敗したときには、auショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

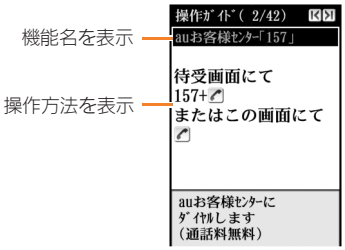
ガイド機能の利用〈M#〉

操作ガイド〈M#1〉

主な機能の操作方法を確認できます。

1 待受画面で■ # 1 ▶ 項目を選択 ▶ ■（表示）

項目によっては、■を押すとその機能を実行できます。



操作ガイド画面

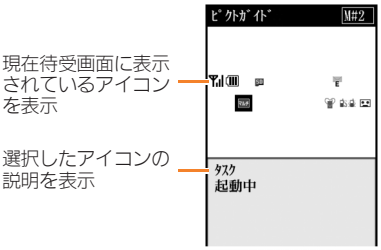
■ お知らせ

- auお客様センターへの電話は、ガイドの画面から／■（発信）を押して直接発信できます。「無応答転送」、「話中転送」、「フル転送」、「選択転送」、「転送停止」の各ガイド画面からも同様に直接発信できます。

ピクトガイド〈M#2〉

待受画面に表示されているアイコンの説明を確認できます。

1 待受画面で■ # 2 ▶ ●●でアイコンを選択



ピクトガイド画面

auオンラインマニュアル〈M#3〉

EZweb「auオンラインマニュアル」へ接続し、操作方法を確認できます。

1 待受画面で■ # 3 ▶「はい」▶ ■

メインメニュー設定

メインメニューの表示（デザイン）を変更できます。

1 待受画面で●▶アプリ（サブメニュー）▶「メインメニュー設定」▶●

オリジナル	お買い上げ時の設定データから選択
データフォルダ	データフォルダに保存されているデータから選択
EZwebで探す	EZwebへ接続し、データをダウンロード
初期値に戻す	メインメニューの表示を「Standard」メニューに設定
ケータイアレンジに従う	ケータイアレンジ設定と同じメインメニューを設定（→P.324）
メーカーサイトで探す	SH@ez（シャープ携帯専用サイト）へ接続

ショートカットアイコン

ショートカットアイコンに機能を登録すると、通常は何回かキーを押して操作しなければ起動できない機能を、待受画面からすばやく呼び出すことができます。
お買い上げ時に登録されている機能を変更することもできます。

1 待受画面で▶ショートカットアイコンを選択▶●

ショートカットアイコン

■ お知らせ

- ショートカットアイコンに対応した1～9を長押ししても、ショートカット登録された機能が起動します。

ショートカットアイコンについて

アイコン	機能	
	アドレス帳	（1件データ）
		（電話番号）
		（Eメールアドレス）
	カメラ	フォト（壁紙モード）
		フォト（デジカメモード）
		ムービー
		バーコードリーダー
		名刺リーダー
		テキストリーダー
	お気に入りリスト（EZweb）	
	M機能	時間／料金／申込
		音／バイブ／ランプ
		画面表示
		プライバシー／制限
		ユーザー補助
		プロフィール
	EZサービスメニュー	EZweb
		au one トップ
		お気に入りリスト
		画面メモリスト
		URLダイレクト入力
		前回画面表示
		EZナビ
		EZナビウォーク
		EZ助手席ナビ
		安心ナビ
		ショッピング&オークション
		EZブック
		EZアプリ
	データフォルダ	（ファイル）
		（フォルダ）
	グローバル機能	エリア設定
		PRL設定
		航空機モード
	カレンダー／スケジュール	

アイコン	機能		
	電卓		
	外部メモリ		
	EZ FeliCa		
	FMラジオ		
	テレビ（ワンセグ）		
	LISMO Player		
	TV／ラジオ		
	PCサイトビューアー		
	Bluetooth		
	FMトランスミッター		
	赤外線通信		
	au one アドレス帳		
	au one カレンダー		
	Touch Message		
	ツール		内蔵辞書／日英翻訳
			ネット辞書
			PCドキュメントビューアー
			タスクリスト
			メモ帳
			アラーム
			カウントダウンタイマー
			ストップウォッチ
	メール	Eメール	Eメール新規作成
			デコレーションメール作成
			受信ボックス
			送信ボックス
			新着メール問い合わせ
			なかよしボックス
			インフォボックス
			au one メールを確認
		Cメール	Cメール新規作成
			受信ボックス
			送信ボックス
			緊急地震速報

ショートカットアイコンを編集する

例：タスクリストをショートカットアイコンに登録する

1 待受画面で[ ]▶[アプリ]（サブメニュー）▶「編集」▶[●]

2 ショートカット項目を選択▶[●]▶「機能登録」▶[●]

3 「ツール」▶[アプリ]（詳細）▶「タスクリスト」▶[●]（登録）

■ お知らせ

- ショートカットアイコンは9件まで登録できます。
- 手順1のサブメニューで「ショートカットメニューリセット」を選択すると、ショートカットアイコンがお買い上げ時の状態に戻ります。
- 手順2で「削除」を選択すると、選択したショートカットアイコンの登録を削除することができます。

マルチプレイウィンドウ

W64SHでは、複数の機能を同時に起動し、切り替えながら操作できます。（プレイ切替）
また、機能によっては画面を上下に分割して、2つの機能を同時に表示することができます。（2画面表示）

プレイ切替

新しい機能を起動する

例：アドレス帳閲覧中にEメールを作成する

1 アドレス帳閲覧中に[マルチ]

2 「メール」▶[●]▶「Eメール」▶[●]▶「新規作成」▶[●]

操作する機能を切り替える

例：Eメール操作中の画面からアドレス帳の画面へ切り替える

1 Eメール操作中に[マルチ]

2 [▪▫▪]で起動中の機能の一覧から「[📖]」（アドレス帳）を選択▶[●]

マルチプレイウィンドウメニュー

■ お知らせ

- 機能によっては同時に起動できないものや制限のあるものがあります。
- 次のような場合は、[マルチ]を押しても動作しません。これら以外の場合でも、操作状況によっては動作しないことがあります。
  - ・各種制限機能を設定後のロックNo.入力画面を表示中
  - ・ケータイアップデート中
  - ・リセット中
  - ・ムービー録画中
  - ・横向き画面を表示中
  - ・データ通信中
  - ・待受指定を設定中
  - ・Myボイスメモなどを録音中
- 複数の機能を起動している場合、新たな機能を起動できない場合があります。起動中の機能を終了してから、再度起動してください。
- マルチプレイウィンドウメニューで「[▯]」（待受画面）を選択すると、起動中の機能を継続したまま、待受画面に切り替えることができます。待受画面には起動中の機能があることを示す「[マルチ]」が表示されます。
- 起動中の機能によっては、[マルチ]を押すと起動中の機能の表示部分（マルチプレイウィンドウメニュー以外の表示部分）が黒く表示されることがあります。

起動中の機能を終了する

1 マルチプレイウィンドウメニューで終了する機能を選択▶[▭]（終了）

■ お知らせ

- 各機能を操作中に[▭]を押しても、操作中の機能を終了できます。
- マルチプレイウィンドウメニュー、各機能操作中に[▭]を長押しすると、すべての機能を一括して終了できます。ただし、機能によっては編集中のデータがあっても保存されません。

2画面表示

新しい機能を2画面表示で起動する

例：アドレス帳閲覧中にEメールを2画面で表示する

1 アドレス帳閲覧中にマルチ

2 「メール」▶■▶「Eメール」▶アプリ（2画面）▶「新規作成」▶■

2画面表示に切り替える

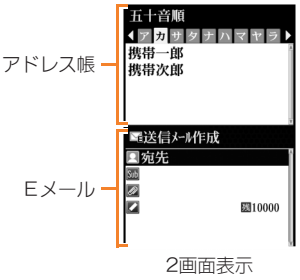
例：Eメール操作中に、起動中のアドレス帳を2画面で表示する

1 Eメール操作中にマルチ

2 ○で起動中の機能の一覧から「📖」（アドレス帳）を選択▶アプリ（2画面）

2画面の上下を入れ替える

1 2画面表示中にマルチを長押し



2画面表示

■ お知らせ

- 2画面表示可能な場合は、アプリ（2画面）が表示されます。また、全画面へ切り替える場合は、マルチ▶アプリ（全画面）と操作します。
- 2画面表示に対応した主な機能は次のとおりです。
  - ・au Media Tuner※
  - ・EZweb
  - ・カレンダー／スケジュール
  - ・文字入力
  - ・EZナビウォーク
  - ・アドレス帳
  - ・タスクリスト
  - ・Cメール
  - ・EZ助手席ナビ
  - ・ペア機能
  - ・メモ帳
  - ・Eメール
  - ・プロフィール
  - ・発着信履歴

  ※ 操作中、EZチャンネルプラス利用中は2画面表示ができません。
- 下半分に表示された機能に対して操作が有効です。
- 2画面表示中は、一部の機能が利用できない場合があります。
- 2画面表示中は、組み合わせにより上画面の表示が停止する場合があります。
- 2画面表示に対応した機能でも、2画面表示に切り替えられない場合があります。
- 2画面表示中に他の機能に切り替える際、2画面表示できない機能を選択した場合や、2画面表示ができなくなる場合は、2画面表示を終了するかどうかの確認画面が表示されます。「今後も確認する」のチェックを外すと、以降、確認画面は表示されません。

二画面終了確認〈M541〉

2画面表示から全画面表示に切り替える際に、確認画面を表示する／しないを設定します。

1 待受画面で■5 4 1▶「ON」／「OFF」▶■

新着通知優先〈M542〉

各機能起動中にメール受信、不在着信などがあった場合に、新着通知を表示する／しないを設定します。

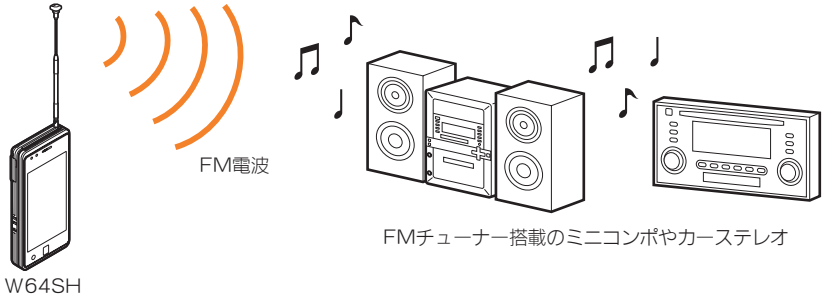
1 待受画面で■5 4 2▶「ON」／「OFF」▶■

■ お知らせ

- 新着通知優先を「ON」にしていても、次のような場合は新着通知が表示されません。
  - ・ムービー録画中
  - ・ケータイアップデート中
  - ・横向き画面を表示中
  - ・リセット中

FMトランスミッター

LISMO PlayerなどをFM電波で送信し、FMチューナーを搭載するミニコンポやカーステレオなどで再生できます。



FMトランスミッターをご利用になる前に

- FMトランスミッターは、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。このため、受信側の機器（ミニコンポやカーステレオなど）や周囲の状況（カーステレオの場合は、車種、アンテナの設置位置、走行状況などを含む）により、ノイズや音の途切れ、歪みなどが発生する場合があります。
- FMトランスミッターは、テレビアンテナ（→P.265）を伸ばしてからご使用ください。
- W64SHと受信側の機器との間に障害物がある場合や、W64SHに金属類を近づけた場合なども、ノイズや音の途切れ、歪みなどの原因となりますのでご注意ください。
- ノイズや音の途切れ、歪みなどが発生する場合は、W64SHを受信側の機器のアンテナに向けるようにして、もっとも良好に聞こえる方向を探してください。
- FMトランスミッターは海外モード、および電源を入れてから一度も国内の圏内になっていない（電波OFFモード含む）状態では、使用できません。

FMトランスミッター〈M271〉

1 待受画面で■ 2 7 1

音楽再生中	音楽再生中のFMトランスミッター出力をする（ON）／しない（OFF）を設定
ナビアプリ中	ナビアプリ中のFMトランスミッター出力をする（ON）／しない（OFF）を設定
周波数設定	FMトランスミッターの出力周波数を設定 *1* 周波数を選択▶■

■お知らせ

- FM放送局の電波干渉を避けるため、FM放送局の周波数とは異なり、極力離れた周波数に設定してください。
- LISMO Playerで楽曲を再生中に8を押しても、音出力先をスピーカー、またはFMトランスミッターに切り替えることができます。
- LISMO Playerで楽曲再生中に0を押しても、周波数設定を変更することができます。
- 音楽再生中のFMトランスミッターの設定はLISMO Player設定画面からも変更することができます。

FMトランスミッターで音声を出力する

あらかじめ「FMトランスミッター〈M271〉」で「音楽再生中」／「ナビアプリ中」を「ON」に設定してください。

1 LISMO Player／EZナビウォーク／EZ助手席ナビを起動

音声をFM電波で送信します。

2 受信側の機器で、周波数を合わせる

周波数については、「FMトランスミッター〈M271〉」をご参照ください。

■お知らせ

- 音量は、各プレイヤーの設定にかかわらず固定で出力されます。受信機側で音量設定してください。

■ お知らせ

- FMトランスミッター出力中は、本体のスピーカーから各プレイヤーの音声は出力されません。ただし、その他の音声（音声着信など）はFMトランスミッター出力を一時中断／終了し、本体のスピーカーから出力されます。
- LISMO Playerで設定されたサウンド設定（おすすめ効果設定、DBEX効果設定、イコライザ設定、BASS設定、サラウンド設定、空間エフェクト設定、ボイスキャンセル設定）は、FMトランスミッター出力中は無効になります。受信機側で設定してください。
- マナーモードの「ON」／「OFF」が変更されても、音量は変更されません。
- 通信を行わない充電ケーブル以外のケーブル、ステレオイヤホンを接続したときは、FMトランスミッターは一時停止され、音声はスピーカー／イヤホンから聞こえるようになります。
- Bluetooth®のワイヤレス機器選択が「OFF」以外に設定されたときは、FMトランスミッターは一時停止され、音声はBluetooth®機器から聞こえるようになります。